



# 善正寺だより

掲示板法話

## あらゆる出会いが

## 命のエンジンとなる仏縁でありたい

各地から花便りの聞かれる季節になりました。しかし、ますます難しい時代に入ってきた今、「自分さえよければいい」とのんびり構えていてもよいのだろうかと思う昨今でもありません。

三月中旬発売の『宗教と現代がわかる本・2009』(平凡社)において、「仏教は現代の苦しみにどう向かいあつていくのか」というテーマで本願寺の「門主さまが上田紀行氏(東工大准教授)と対談され、シヨッキングな認識を披露しておられています。上田先生は「がんばれ仏教」の著者として有名な文化人類学者で、「門主はこの書物の中で上田氏が主張する『説く仏教から聞く仏教へ』という指摘に共鳴され、日本仏教界について二つの危機を指摘されました。一つは「組織としての危機」、もう一つは更に本質的な「教え自体の危機」です。組織の危機とは、いわゆる「大衆の寺離れ、仏教離れ」現象のことです。

一方、「教えの危機」に関して、教えを説く僧侶の感受性が特にベテラン層において乏しいお説教を事例として嘆かれ、「今までの教義はハンドルのみみたいなもので、道を間違えたらいけない、正しい方向に行こうと一生懸命議論しているけれど、ハンドルをい

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:0593-31-1670  
☎:0593-32-0733

くら回しても前へ進まない。もっとエンジンで前へ進む、元氣の出でくるような教え、エネルギーの「もった教えが必要だ」(取意:文責筆者)と熱っぽく語っておられます。

具体的に、「誰も命を粗末にしないで自殺する人などいないのに、『自殺なんてけしからん。もっと命を大事にせよ』とお説教する。あれじゃ誰も相手にしないだろう。もっと生々しい感受性を養わないとエンジンとなる教えは生まれません」という訳です。「お念仏一つで救われる」と言っても大衆の痛みへの感受性が乏しいならば誰にも響かないのです。「命が大切だ、そんなことを百回言われるよりも『あなたが大切だ。それだけで生きていける』という公共広告機構の標語の方が僧侶の説教よりよほど救いになる、ということを感じます。

二月中旬、九十歳でお亡くなりになったおばあちゃんの遺品の中から、「戦地からの手紙」が沢山発見されました。その方のご主人は長男が生まれて一カ月後召集され、最後の手紙から半年後、二度と妻子に会うことが叶わず、昭和二十年六月フィリピンにて戦死されました。「一度でいいからわが子をこの手で抱きしめたい」という父親の文字を発見された

息子さんは、「これは金で買えない宝物です」と言われました。「かけがえない宝物ですね。あなたやあなたの子孫の命の中に、永遠に消えない宝物に遇えましたね」と喜びを共にした「お父さん、お母さん有難う」という「葬儀でした。

みんな、かけがえない命を今生きている。法座だけでなく、あらゆる出会いが命のエンジンとなるようなご縁でありたいと願っています。



「つれづれ日記」がケータイで閲覧可能に上記のQRコードを対応ケータイカメラで撮影読み取ります。  
カメラメニュー(機能)  
↓バーコードリーダーまたはアクセサリバーコードリーダー

### ☆坊守、熱っぽくパソコン講演☆

- ・3/1坊守が鈴鹿組総代会研修会で講演津市芸術文化センター於(左写真)
- ・3/7キッズサンガ6年生の卒業式2名に本山賞が贈られた(下写真)



### ☆行事ご案内☆

#### ◇門信徒会例会4月19日(日)夜7時半

- ① 五木寛之『親鸞』クライマックスの味わい・座談(新聞小説を読んだ感想、味わいを語り合おう!)
- ② 次期役員改選;世話方選挙開票、総会準備について

#### ◇三重組総代会研修会 4月11日(土)午後1時

(午後;総代会研修会、夜;壮年研修会)

in善正寺

#### ◇4月19日(土)午後三全仏教婦人会初参式・降誕会光念寺

#### ♪三重組コーラス♪

※4/7(火)午前10時半・陽光苑誕生会慰問 27回目

※4/25(土)夜7時半練習、5/20午後三重組仏婦総会出演

#### ◇キッズサンガ

4/4(土)午後4時お経・ゲーム・お菓子誰でもOK

#### ◇一縁会テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

#### 予告◇5/31(日)午前 門信徒会総会(新役員改選)

午後1時「公開法座」(講師貴島信行先生・大阪)

#### ◇6月15日(月)午前・午後三重組仏教講習会(善正寺於)

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索OK新着情報

や『住職と坊守のつれづれ日記』おススメ!ほぼ毎日更新!

何でもご相談お気軽に。仏事以外のことで結構です。お返事します。

# 坊守スケッチ

## 隣は何をする人ぞ



この言葉は、松尾芭蕉が死ぬ二週間ほど前に、読んだ俳句の一部である。その前に「秋深き」という上の句が入る。予定していた句会に、体調悪く行けない芭蕉が、床から起き上がったって読んだ絶唱の最高秀句である。死を迎える芭蕉の深い孤独感が感じられる。

なぜこの句を引用したかという点、現代は隣近所の付き合いが希薄なために、「縁浅き隣は何をする人ぞ」の場面に出会うことが度々あるからだ。

先日、知り合いが交通事故で亡くなったという新聞記事を見てビックリ！大変お世話になった方なので、早速お悔やみに伺うことにした。電話をかけたが全く通じない。とりあえず記事に載っていた大まかな住所をカーナビに入れて、車で三十分の距離を飛ばした。高速道路を降りると巨大な新興住宅地に入った。何丁目までは分かるが、下の番地は知らない。〇丁目まで行けば何とかなるだろうと安易に考えていた。しかし〇丁目の中だけでも二〇〇軒以上ある。車が沢山止まって葬式らしい雰囲気の家は見当たらない。インターホンを押して聞く勇氣もない。外に出ていた二、三人に聞いてみた。「さあ、全く知らない」「この辺は付き合いがないからねえ」「番地が分からないなら無理だね」と愛想のない返事ばかり。仕方なく一軒一軒の

表札を見ながら探して歩いた。やっとの思いでお目当ての表札を探し当てた。娘さんが「葬祭場にいますから、是非会ってやって下さい」と言われた。遺体に付き添っていたのは奥様と息子さんのたった二人だけ。「主人の育った所は農村地帯。定年後そこが懐かしくて、毎日自転車で一時間かけて在所の畑仕事に出かけていました。昨日も朝ご飯食べて二十分後の事故でした。身元が分かるものを持っていなかったたので、自転車の登録番号から家族に連絡が入ったのが三時間後。人間のいのちは本当にはかないものですね」と涙をこらえて語られた。私がお宅を捜し歩いた話をしたら「主人が晩年、田舎暮らしをしたいと、言った意味がよく分かりました。若い頃は仕事に出ているので気付かなかったのですが、定年後近所付き合いが無いので、寂しくて仕方なかったのですね。それで遠い畑まで出かけていったのですね。葬式があっても知らん振りです」

近年、冠婚葬祭が殆ど業者任せになつてしまったことも、「隣は何をする人ぞ」の一因になっている。昔は葬式とおめでたいことは、地域や親戚が集つて助け合い喜びあった。しかし仕事最優先の時代にあつて、その人間関係が煩わしくて、全てお金で済ませようとした。百年に一度の世界経済危機の

時代に、お金では買えない大事なものを見直す絶好の機会が巡つてきたのではないかと思う。「隣は何をする人ぞ」と無関心を装うのではなく、せめて優しい一言をかけた方がいいものだ。

### ☆寄稿

四日市市 川崎孝一

☆衣更着や あしたの窓は じょうり雪 被く益梅 紅の仄かに

☆リハビリを 兼ねてゲームの 豆移し 持つ割り箸に いちやもんつけて

☆どうしようもない 私はすでに み仏の中でありました

☆親を思わば 夕日を拝め 親は夕日の 真ん中に

☆西の空見て 南無阿弥陀仏 弥陀は夕日の その先に

☆当時七五調の誰もが分かる言葉で、皆で歌いながらお経の心を体感した。

☆四月七日(火)午前・陽光苑慰問

☆四月二十五日(土)夜七時半 練習

☆(その後の練習予定)

☆五月二十日(水)午後一時三重組仏

☆婦総会(西坂部覚照寺)出演

☆「光あふれて」七百五十回忌音楽法要

☆六月二十七日(土)夜練習

☆七月二日(木)名古屋別院音楽祭

☆キッズサンガ杉の子合唱団

☆四月四日(土)午後四時より

☆お経・ゲーム・紙芝居など。

### ☆ホットニュース

◇加藤幸子先生よりお誘い「五月四日午前津正覚寺様・午後松阪善覚寺様で『聞法の集い』講師岡本法治師・広島」

☆善正寺のホームページが公開！仏事に関する相談、お悩み等気軽にお寄せ下さい。「三重 善正寺」で検索可。

※「住職と坊守のつれづれ日記」がおススメ、好評！ほぼ毎日更新。過去の日記も右横にある(アーカイブス)2008・2009該当月をクリック。カレンダー方式で全部出現。毎朝散歩時にカメラで撮影、ブログネタを取材。おかげさまで開設七か月でアクセス数が五千三百回を突破！今までお寺と縁がなかった方や若者、子供の訪問に感謝。

◇日本全国ありがとうお国言葉コピーをMさんより頂戴。NHK朝ドラの「だんだん」を使うのは島根・鳥取・愛媛。三重は「おおきにな」です。

☆カンパ有難う☆ 木村たか子様、他匿名様に感謝！

☆本願寺展：四月十八日(土)～五月三十一日(日)まで。名古屋博物館。本願寺伝統の国宝、重文お見逃しなく

☆本山御影堂修復完成慶讃法要・五月二十二日(金)～二十六日(火)午前修行。稚児募集(対象・小4以下、100名)

☆編集子より ☆ 「善正寺だより」第一八四号をお届けします。◇上田紀行氏「人は交換可能な部品でない、かけがえない存在だ！」と語っている。皆等しく自覚したい。合掌

桜前線が北上し春も盛りなのに、景気は厳しい冬の時代に逆戻りしました。映画「おくりびと」が米アカデミー賞に輝き世界中の人々が日本人の死者を送る厳かな儀式に感動しています。茶道のような作法は死者への深い敬意の表現、人生最後の旅立ちを見送る側にも温かい気持ちに包まれます。一昨年大ヒットした「千の風にな」は死者からのメッセージでした。日おくりびとは生者からの感謝のメッセージです。今まで忌み嫌われていた死者のイメージが爽やかで親近感あるものに変容したことは大きな貢献でしょう。しかし残念なことに大ヒット作にお寺も「お坊さん」も登場しないことです。宗教が前面に出なかったため大ヒットしたのかもしれない。都会では僧侶ぬきの直葬が急増中。生きている人の悩みに向き合えなかつたお寺、怠慢のツケです。そもそもお釈迦様は「人生相談の元祖」ではないかと思えます。一人一人の悩みに応じたアドバイスを親身になつてされたカウンセラーの元祖！それならば私達も原点に戻って見習えはいいのです。「生きてた人々が肩の重荷を下ろし、生き生きと集う場所」それがお寺の役目ではないでしょうか。三重组コーラスは初回大遠忌法要に向け、音楽法要の練習を開始しました。「仏教讃歌は現代の和讃」という願いで、親鸞様のみ教えに触れ、念仏を歌声運動のように展開していきたいと思ひます。四月の行事として、(主)午後三重组門徒研修会(善正寺)、(客)午後三全仏婦初参式降誕会(善正寺)三重组コーラスは名也陽光苑、(主)夜練習です。また門信徒会例会(名也)夜も、花粉症の季節、くれぐれもご自愛下さいませ。

合掌

平成二十一年四月

善正寺坊守 拝